

## 第2回技術審判部会（報告）

- 1 期 日 平成24年7月31日（火）20:00～
- 2 会 場 弥彦グランドホテル
- 3 参加者 折本・中村・猿舘・寺崎・河田・是永
- 4 内容

- (1) 2012全日本ステージロードレース（岩手）8月30日～9月2日 推薦者について  
高体連技術審判部会員 河田拓也先生 を推薦する。
- (2) 平成24年度高体連アンケートについて  
ア 平成23年度インターハイ、選抜大会に続き3回目のアンケートを実施した。  
イ 回収状況 選手 50%程度 顧問 70%
  - ・回収方法に問題があったのではないかと。開催地を頼らず、自分たちで配付・回収した方が回収率が上がる。（精度の高いアンケートができる）
  - ・筆記用具を貸与した方が良かった。選抜大会時の回収率の高さは競輪場に設置してある“消耗品鉛筆”を配付した。
  - ・本日現在での所感として、顧問アンケート内にある要望事項に5つ以上の回答者が多い。経験者顧問も含めて情報を欲しがっている傾向は変わらない。執行部として希望に応える必要があるのではないかと。
- (3) 審判講習テキストの配付（1992年版）  
内容の変更は必要であるが、内容はルールブック以上に分かりやすい。著作権等を確認してHPにアップしたい。
- (4) 2013年大分インターハイについて  
ア 実施要項変更については委員長会議の承認を得た。  
イ ポイント・スクラッチについては組数を1つ減じる。  
ポイント 25名×2組＝50名以内  
スクラッチ 17名×3組＝51名以内  
4km速度 10名×5組＝50名以内

※委員長会議への提案方法は一考した方が良いのではないかと。しかし、趣旨と目的はご理解いただいたと思う。

- ①組数減によるインターハイのスケジュール全体像
- ②ブロックにおける割当人数増減を明示した方が良かったのではないかとと思う。

### ウ 別表についてのタイム制限について

上記で組数削減の一方で現状ブロック格差（タイムおよび参加校・人数）がある以上、団体競技においては実力のあるチームが出場できる措置は取りたい。

#### ①個人種目（1km・3km）

1km 1分12秒5 → 1分12秒0  
3km 3分52秒0 → 3分50秒0

#### ②団体種目

TP 5分02秒0 → 4分45秒0  
TSP 1分25秒0 → 1分24秒0

※ただし、団体種目はインターハイ出場人数総枠を超えない範囲でブロック出場枠の上限は撤廃する。

以上、理事会へ提案する。

- (5) 平成24年度全国選抜大会審判長について  
自薦、他薦を問わず一考いただきたい。
- (6) 次回部会について メールや電話で意見交換ができる事は行い、顔を合わせての会議が必要な内容について理事会前日を第1案として考えたい。